

大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）同意書

【胃がん検診の目的と方法】

胃がん検診は症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。その方法にはバリウムを用いる方法（胃部エックス線検査）と内視鏡を用いる方法（胃内視鏡検査）があり、いずれもその効果が証明されています。また、両者の方法には良いところと悪いところがあります。

【胃内視鏡検査の方法】

口または鼻から胃内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を内腔から観察し、病気を探します。異常がある場合には病変の一部をつまみ（生検）、細胞の検査を行うことがあります。また、色素を散布して、病変を見やすくすることがあります。なお、生検が行われた場合、生検については保険診療として別途請求があります。当日は健康保険証を持参してください。また、生検により粘膜に傷ができますので、検査当日の食事は軟らかい消化の良いものを食べてください。過度な運動、長湯、旅行などは避けてください。

【偶発症】

偶発症が発生する頻度は、胃内視鏡検査では 10 万件に 78 件と全国調査により報告されています。この中には鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。現在、胃内視鏡検査による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。

胃内視鏡検査では以下の偶発症が起きる可能性があります。

- 1) 胃内視鏡により粘膜が傷つくことや、出血、穿孔（穴があくこと）
- 2) 生検により出血、穿孔
- 3) 薬剤によるアレルギー（発疹・呼吸困難・血圧低下・ごくまれにショックや呼吸不全など）
- 4) 検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）

なお、当施設では偶発症の防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

平成 年 月 日 説明医師署名

上記の事項について、説明を受け、十分に理解しましたので、その実施に同意します。

平成 年 月 日

受診者署名

受診者代理署名

（続柄）

大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）同意書

【胃がん検診の目的と方法】

胃がん検診は症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。その方法にはバリウムを用いる方法（胃部エックス線検査）と内視鏡を用いる方法（胃内視鏡検査）があり、いずれもその効果が証明されています。また、両者の方法には良いところと悪いところがあります。

【胃内視鏡検査の方法】

口または鼻から胃内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を内腔から観察し、病気を探します。異常がある場合には病変の一部をつまみ（生検）、細胞の検査を行うことがあります。また、色素を散布して、病変を見やすくすることがあります。なお、生検が行われた場合、生検については保険診療として別途請求があります。当日は健康保険証を持参してください。また、生検により粘膜に傷がでますので、検査当日の食事は軟らかい消化の良いものを食べてください。過度な運動、長湯、旅行などは避けてください。

【偶発症】

偶発症が発生する頻度は、胃内視鏡検査では 10 万件に 78 件と全国調査により報告されています。この中には鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。現在、胃内視鏡検査による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。

胃内視鏡検査では以下の偶発症が起きる可能性があります。

- 1) 胃内視鏡により粘膜が傷つくことや、出血、穿孔（穴があくこと）
- 2) 生検により出血、穿孔
- 3) 薬剤によるアレルギー（発疹・呼吸困難・血圧低下・ごくまれにショックや呼吸不全など）
- 4) 検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）

なお、当施設では偶発症の防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

平成 年 月 日 説明医師署名

上記の事項について、説明を受け、十分に理解しましたので、その実施に同意します。

平成 年 月 日

受診者署名

受診者代理署名

（続柄）